



学校教育目標「笑顔いっぱい ともに輝く小山台」

学校だより

9月号

令和6年8月28日

横浜市立 小山台小学校

# 小山台

## 「やりたい」を増やせたら…



校長 堀江 公子

8月も終わりとなりますが、まだまだ暑い日が続いています。長いようであっという間の夏休みが終わり、ひと回り大きく、たくましくなった子どもたちが教室に戻ってきました。休み中には、地域の夏祭りにも荷い、子どもたちの楽しそうな姿や笑顔がたくさん見られました。開催にあたり、多くの地域の皆様にご尽力いただき誠にありがとうございました。小山台小の子どもたちが、保護者・地域の皆様に温かく見守られていることを改めて実感しました。

さて、この夏も各地で猛暑が続くなか、オリンピック選手たちの活躍がパリの歴史的な風景とともに伝えられました。選手たちの躍動感あふれる姿や素晴らしい記録、そこに至るまでのストーリーに心を動かされたパリオリンピック。よい結果を残せた選手の最高の笑顔や嬉し涙、また、その一方で望んだ結果が出なかった選手の悔し涙。そして、どの選手も家族や周囲への感謝の気持ちを伝えていました。ここまで、「自分はこうなりたい」「自分はこうしていきたい」と自分自身の目標に向かって粘り強くひたむきに努力を積み重ねた結果、オリンピックという大舞台に立っているのだと思います。選手一人ひとりの姿を通して、努力を積み重ねることの大切さや感謝の気持ち、仲間やライバルとの絆など、子どもたちも多くこのことを感じたことと思います。



さて、夏休み前の朝会で、「夏休みは、学校のように時間割やチャイムがなく、いつ、何を、どうすればよいかを自分で考えなければなりません。でも、逆に言うと、いつ、何を、どうするのかということ自分で決めることができます。“自分はこうしていきたい”と考え、楽しくよりよい夏休みにしてください。」という話を子どもたちにしました。夏休みの子どもたちはいかがだったでしょうか。

いよいよ前期後半が始まりました。日常には、「やること」がたくさんあります。学校生活においても同様です。「やること」は、子どもたちが「やりたい」と思うことばかりとは限りません。しかし、「やること」のいくつかが自分から「こうしていきたい」「やりたい」と変わったなら、とても嬉しく思います。自分で「こうしたい」と思ったことは、粘り強く試行錯誤しながら取り組んでいけると考えるからです。日々の学習活動でも、子どもたちが主体的に取り組めるよう工夫し支援していきたいと思っています。

夏休み明け、運動会に向けての活動も始まります。今年は残暑も厳しいと言われていますが、子どもたちの健康・安全に配慮しながら、教育活動を進めていきたいと思っています。保護者・地域の皆様には、引き続き、ご理解とご支援のほどをよろしく願います。

